

校長室の窓から

～夢の扉 臨時号～開校記念式編 R3.9.22(水)

本日は開校記念式を行いました。

文責 学校長



～昔の武雄高校はこうだった～

110年を超える歴史の中で変遷してきた母校

【武雄高校の歴史】

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1908年(明治41年) | 武雄高等女学校としてスタート |
| 1928年(昭和8年) | 武雄中学校開校(旧制中学校) |
| 1948年(昭和24年) | 武雄高等学校開校 |
| 1982年(昭和57年) | 武雄青陵高校と分離 |
| 2007年(平成19年) | 武雄青陵高校と合併し中高一貫校として開校 |
| 2008年(平成20年) | 創立100周年記念式典開催 |
| 2018年(平成30年) | 創立110周年記念式典開催 |

【校門の変遷】※右の写真参照

右の写真を見ると高等女学校時代からの校門(写真①)の変遷がよくわかります。高等女学校はグラウンドの西側の現在住宅地となっている辺りに校舎が立てられていたようです。その後、現在のグラウンドの部室棟の高さに木造校舎として中学校の校舎が立てられ、グラウンドの中央を突っ切るような場所に正門(写真②)が建てられていたそうです。女学校と中学校が一つになり、武雄高校となってもしばらくは旧制中学の正門(写真③)を使用していましたが、昭和36年に国道の拡張工事に伴い、現在の郵便局前の位置に正門(写真④)が新たに作られました。昭和40年には学校のマンモス化(多いときは1学年600人以上の年も)に伴い、今の南体育館の横のテニスコートの場所に南校舎が立てられ、郵便局前の正門から南校舎まで長い武高坂(地獄坂と呼ばれていました)を夏は汗だくになりながら登っていた記憶があります。昭和63年までのグラウンドは国道と同じ高さでしたが、都市計画(高速インターまでの道路整備)に基づく道路拡張工事に伴い、正門は現在の位置に移築されました。その後平成10年に北校舎と南校舎が無くなり、現在の新校舎に引っ越しするのに伴ってグラウンドに大量に盛り土がされ現在の高さに至っています。写真③をよく見ると正門の手前には橋が架かっており、かつての塚崎城のお堀が学校の周囲を取り囲んでいたことが窺えます。

【武雄高校の校是】

武雄高校には「校訓」ではなく「校是」として「質実剛健」「報恩感謝」という言葉があります。正しくは「**質実剛健にして、報恩感謝の誠を尽くす**」と教えられてきました。亡くなった前同窓会長の石井義彦氏の話によれば、その由来は、旧制武雄中学時代に遡り、昭和16年に**校舎が全焼**し、当時の婦人会の人々の「**1銭貯金(募金)**」と**旧制中学のOBの方々の寄付**のお蔭で翌年には校舎が再興されたという歴史に基づいていると記憶しています。旧制中学校は男子校であったことから元々「質実剛健」な校風で、校舎再建の折、地元の人々に支えて頂いた恩に心を尽くして報いようという精神からきている言葉のように思います。武高生の皆さん、コロナ禍の生活が続きそうですか、今は辛抱の時です。一日一日を「**質実剛健**」な気風で目標に向かって「**一心不乱**」に精進し、地域や社会に「**報恩感謝**」することのできる人財となることを期待します。

【かつての校舎】

○北校舎

現在の部室棟の高さに木造の北校舎があった。

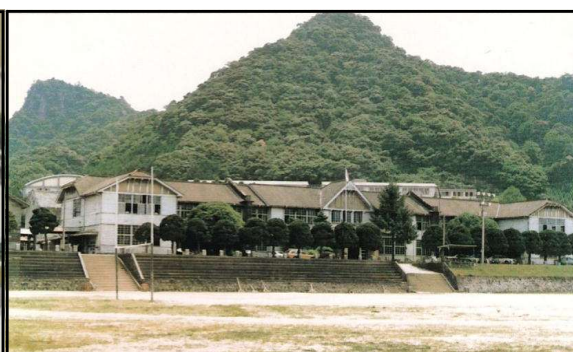
…3年生12クラス

2年6クラス

※上級生になるほど校舎が近くなっていく配置。



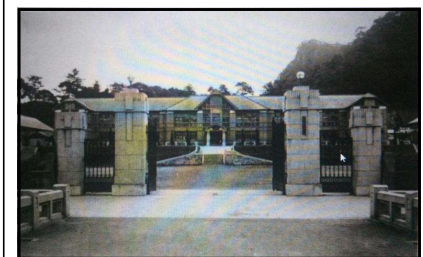
【当時の北校舎配置模型】※校長室にあります



【懐かしの北校舎】



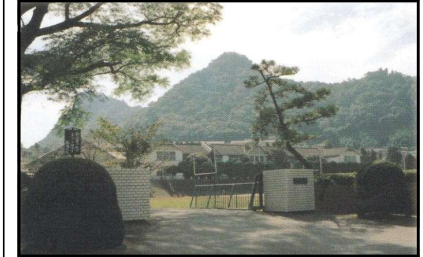
①高等女学校の正門



②旧制中学校の正門



③武雄高校の正門(～S36)



④武雄高校の正門(～S63)

○南校舎

南体育館の横に鉄筋コンクリート製の南校舎があった。

…1年生12クラス

2年の6クラス

※1年時は男女別クラス

1階 1年男子

2階 1年女子

3階 2年



【南校舎は新校舎とも呼ばれていた】



【南校舎の手前には特別教室棟があった】

※夏は汗だくで南校舎まで武高坂（現在よりも100m長かった）を毎日登った。

【学校行事】

○体育祭・・・現在と違う点

◇仮装行列（3年12クラス）※洗車や神輿、牛車を作った時も。

◇マスコット・・・パネルではなく立体のマスコットを制作

◇ファイヤーストーム（後夜祭・男子のみ）

◇様々な競技

◆スウェーデンリレー（50m→100m→150m→200mと距離が増えていく）

◆近代五種（珍代五種？）

1人（徒歩）→2人（亀）→3人（かごかき）→4人（騎馬）とリレーしていく。

◆旗立て ◆高校生クイズ ◆徒競走・・・全員

◆部活対抗リレーはがちリレーだった（部の威信を懸けた）

○修学旅行

12クラス時代は女子のみ実施。6クラス時代になって男女一緒に。



【女子のみ（夏に京都・奈良）】

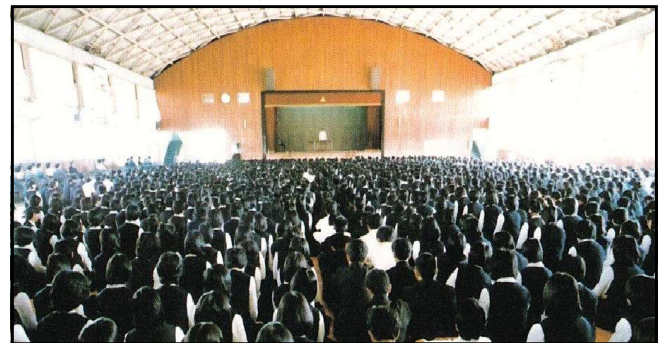


【男子は阿蘇少年自然の家で宿泊研修】

【学習体制】

◇昭和の時代

- ・週6日制（土曜の午前中も授業）
- ・早朝補習・・・3年 週5日（国・英・数・社・理）
1・2年次は週3日（国・英・数）
- ・地歴公民は5科目履修（日・世・地・倫理・政経）
- ・理科は4科目履修（物理・化学・生物・地学すべて）
- ・総学はなく、週に1時間必修クラブがあった。※部活と別に
- ・夏季特課（20日間）、冬季特課（5日間）春季特課（5日間）
- ・模擬試験・・・定期考査に加えて、校内実力テスト（5回）
西部模試（3回）進研模試（3回）、他に西日本模試、学研模試、旺文社模試などもあった。
3年は加えてマーク模試も4～5回（1/1・2は佐大で）



現体育館に36クラス1500人が一堂に会した集会

○とにかく鍛えられた・・・3年生の10月～12月はほぼ毎週末は模擬試験（徹底した共通1次試験対策）

○地歴公民・理科を全科目学習したことは、その後の人生にプラス。（幅広い教養）

◇平成の時代（旧武雄高校時代）～H18（中高一貫教育になる前） ※早朝補習も毎日実施されていた。

・入学早々の「オリエンテーション合宿」（旧武陵会館に宿泊）に始まり2年の「夏季勉強合宿」、3年の総体後の「部活対象勉強合宿」夏休みの「理系合宿」などで学習漬け。

・「武高さくらプラン」として、ディベート学習、小論文コンクール、プレゼンコンクール、SPP（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）などに取り組む。また、校外体験学習として、日本の次世代リーダー養成塾、森の聞き書き甲子園、高校生クイズ選手権、版画甲子園、サイエンスキャンプ、全国ユースフォーラム等に積極的に参加。